

ノ



作

三五 受信 一三二〇〇 譯了 一七〇〇 電 〇二五四六 作 概

二六特根戰團概報着信處所  
三南遣艦隊各戸

二六特根

機密 〇三二〇〇五番電

六五B戰團概報三日

一〇三〇ヨリ一〇〇迄P一四〇一六ワシレ地區銃爆撃〇七〇

五戰發二一六五〇スピットファイヤ四カウ灣地區偵察戦果撃破

スピットファイヤ一被撃ナシ

ニドルバ入港〇九一五大型丁三 艇役船二 一二〇五大型丁一出港

〇七二〇警備艇一 潜水艇一 艦潜艇一 一五〇〇小型丁一 執レモ針

路東旋泊 (一四〇〇) 丁大型五 小型二 艇役船二 艦潜艇三 魚雷艇七

三日ロクイ機進針路北乃至西大型四六中型三九小型一八計一三本  
通二六九五 口二Bラ十八 (一三三六七KG) 二一 通 安田 (本田)

0114

20. 3. 6.

095

三 受信二三〇二 譯了〇〇四〇 電〇一六三九 作 機〇  
四 譯始〇〇〇〇

緊急

泰國在帝國大使官附武官



● 南西方面陸隊P。一〇特根P  
● 南道陸隊P。一〇特根P  
● 軍務局長・軍司令部第一部長・軍司令部三部長

機密第〇三二〇二五番電

20. 3. 4

三日〇二二五ヨリ〇五一一迄空襲警報發命  
B二四約三〇機市街上空ニ侵入主トシテ「マカサン」森鐵道工場ニ燒  
夷彈及爆彈（各約二五〇程度）ヲ集中投下同工場ハ一部ヲ殘シ全壞復  
舊ノ見込立タズ附近我陸軍部隊ニモ戰死及負傷者若干アリ尙メナム河  
三箇所ニ磁氣機雷十數箇ヲ投下セリ。

096

通一九三二 天二日分六（六二三五）一〇通 半澤（様）澤

緊急

三三 受信二三五八 開始〇〇四五 譯了二〇二〇 電〇一七二五 航作機本〇

鹿屋航空基地



一機動基地航空部隊作戦命令着信處所

機密第〇三二二二〇番電

一KFGD信電令作第九一號

明四日各隊ハ左ニ依リ作戰スベシ

一K二六二・九八P七P黎明時以後避退即時待機

二戰團機隊ハ左記ニ依リ日出三〇分前ヨリ上空警戒

三右ノ外黎明時迄ニ分散配備ヲ完了明朝<sup>早</sup>第二戰法ヲ準備

通一九六三 呂一Bケ五(三九三七五K)一KFG放 安彦(榛澤)

20. 3. 4-

三 四 受信 〇〇五二〇六 歸了 〇六〇〇 電 〇〇一七五二 作 概

14 K

父根 戰艦 概報 着信 處所

父 根

機密 第〇三二三三番電 二分ノ二

20. 3. 4

戰艦 概報 (三月三日 其ノ二)

一 一五ヨリ 約一時間半ニ 互リ 戰爆聯合艦上機一九機 來襲主トシテ

二 見沿岸ヲ 南航一隊ハ アゴン島ヲ 反覆銃爆撃一五二一B一三四 二機 來襲ハ ツネ 海岸ニ 數發 投彈一七四一ヨリ 夜戰ラシキモノ 數機 來襲

約一時間半ニ 亘リ 執拗ニ 南岸 地域袋ザワ 大根崎等 水際附近 銃爆撃

三 戰果 擊破B一三四 一機

三 被害 ナシ

四 右ノ 外殆ド 終日 大型機ノ 哨戒アリ。

通 一九九二 天二Bケ六(五一〇〇KC) 父通

平島 鈴木 (監 田)

27 19

三四 受信 一七〇 譯了 二〇一五 電 〇二〇三五 作 概



南東方面部隊戰況概報着信監所

第八七警

機密 〇四〇五三四番電

099

20. 3. 5.

R X O 〇 備部隊戰況概報第二七號

(自二十八日至三日)

二十八日〇七三七「ソラケン」方面〇八〇八「QB」灣方面戰團機各一  
 偵察〇九三〇戰團機二「QB」海峽東「ボ」島側〇九三〇戰團機四「  
 サナ」方面各統監一〇〇戰團二「ソラケン」方面統監一〇一四〇  
 戰團機二「QB」海峽「QB」島側統監二日〇七四五「〇八一五」ソラ  
 ケン」方面一〇〇二「QB」海峽東口「ボ」島側各二偵察三  
 日戰團機二「サナ」方面偵察〇八四八戰團機三飛行場統監一〇四〇戰團  
 機三「サナ」機監一四二〇「四」九「シハラ」方面統監戰果被害ナシ  
 通二三二四 呂二Bラ十一(九八九〇KC) 八通 田中(小野・田)

3

三四 受信 始 一六三七 譯了 一九一〇 電〇二〇二二 作 概

至 急

574

南東方面部隊戦闘概報着信監所

機密第〇四〇六四五番電

RN方面部隊戦闘概報第一五三號

(三月三日)

R O O 七〇〇一 一六〇五 F 四 U 二機 計八機 一三〇〇一 一四〇七  
 B 一 二五 四機爆撃並ニ哨戒 〇五〇七 I 〇七〇三 B 一 三四 一九二  
 〇 一 一九三五 中型機各一機哨戒 〇七一九 P B Y 一 〇七三四 C 一 三九  
 一 〇七五五 B 一 二五 二五 〇八三九 B 一 三四 一 一〇二三 B 一  
 二五 一 一四五 一四〇八 P B Y 各一 一二四〇 B 一 二五 六  
 〇八三〇 中型機 一九一キマダン 南東進 〇六四四 B 一 二五 一二一  
 通二三〇五 呂二 B 一 十一 (七八九〇 KC) 八通 佐藤 (小野 田)

○八四九  
 ○B I 二五  
 一三・一三四  
 ○B I 二五  
 六・〇九〇  
 二中製機  
 一三「カウ  
 ト」北西進  
 戦果 被害ナシ。



Handwritten mark resembling a stylized '人' or '入'.



三 四 受信〇八五〇 譯了二一四五 電〇一八九二 作概〇

至 急 譯始一〇〇〇

共 符

機密第〇四〇七三五番電

發 母島警備隊司令

宛 横鎮參謀長

貴機密第〇二一七一七番電拜承

陸海軍ニ協力極力戰備增強訓練勵行戦力ノ強化ヲ計リ必勝ヲ期シテ

敵機動部隊本土來攻ノ際攻勢ニ守備ニ遺算ナキヲ蒙祈ル。

通二一四二 天二Bヶ六(一〇二〇〇)父通 安田(小澤)

20. 3. 5-





作戰緊急

三四 受信 一三三〇  
開始 一二五三〇  
丁一三四三 電〇一九一七  
作部 〇

● 總無線艦所用共通符號



- 第一潜水部隊・父島方面根
- 海上護衛總隊・聯合艦隊
- 大本營海軍部・第三、第五各航空艦隊
- 横
- 俣

機密第〇四〇九三三番電

● B 電令作 四一號

伊號 四四潜水艦ハ好機アラバ硫黄島方面敵艦船ニ對シ同夫ヲ以テス  
ル攻撃ヲ決行スベシ  
爾後 B 電令作 第三號ニ基キ行動スベシ

通二一八一 呂一〇 ( ) 吳 根井 ( ) 雨 谷 ( )

103

三 四 受信 二二四 五 丁 二三四 五  
電話 〇〇〇 二二二 一一一 〇〇〇 七六五  
航作 概 本〇

至 倉



● 西部分部隊各口下・三八一・三三一・一一各空  
一二・二三・三一・馬來・東印・臺北各空  
● 第一〇方面艦隊口  
● 聯合艦隊口・第四南遣艦隊口

● 電報 〇四一〇二四番電 三分ノ二二三

發 參謀長

近ク航空隊ノ改編ニ伴ヒ基地管理政ニ配備標準左ノ如ク發令セラ  
ルル豫定ニ付準備アリ度

管理(配備)部隊・標準・基地名ノ順

一 佛領印度支那基地隊(佛印空) 甲ツドウム基地群(ツドウム

第一第二サイゴン ヒエンホア(乙)ナトラン内ハイフォン

通 通 二四三 七六九 呂一Bヲ十八(六)三五〇(十) 飯島(阿) 佐藤 一

ツールン クラコールスユ マライ空甲ベナン基地群（ベナン  
 シン、アエルタワル）及昭南基地群（セレター、ジョホール、  
 バトバハ）乙コタラチヤ基地群（コタラチヤ第一第二サバン  
 サマリンド）及コタバル内ラングーン、バンコック、ポート  
 プレアー、カーニコバル第一第二バダン、シンゲツブ、ムン  
 トク、ラプアアン

（同）東印空甲ハンジャルマシン第一第二乙バリツクババン基地群

（イ）ジョクシヤカルタ第一第二メラク）及チリリタン内示ン  
 チアナク、バンカランプン、丙及練スラバヤ基地群（乙第三  
 、スラバヤ、マシウシ、デンバツサルニ

（丙）北空北空乙ケンダリ基地群（ケンダリ第一第二アシベシア

ホマラ第一第二）丙メナド第二マカツサル第一第二

（四）大邱空線シヨクシヤガルタ

（丙）右以外海軍管理基地ヲ丁トス

三 標 進

甲（各種機二隊程度常駐作戰基地）

乙（同一隊進駐<sup>?</sup>作戰基地）

丙（少數機ノ前進補給基地）

丁（基地員ヲ常駐ヒズ）

練（練習隊常駐基地）

三、甲空ノ配備ハ概ネ打合ヒ通リトシ基地ヲ管理ヒシメズ

四、一基地群内ノ配備ハ各航空戦隊司令官所定。

3

天  
人

三  
六五  
譯受信  
始一〇〇二五〇  
譯了〇〇四五  
電〇二六二八  
作  
概

停

● 第二〇聯合航空隊ト・横領・欺符

機密第〇四一二五五番電

● 清 水 空

發 清水航空隊司令

清水市焼夷彈被害狀況報告

一、種類及投下彈數 黃燐油脂及「カソリン」「コム」混合約一三〇

二、被害 清水驛東側附近家屋全焼二〇半焼二五東出燃料株式會社倉

庫一棟半燒呂燃料「タンク」異狀ナシ

三、死傷者及軍事施設被害ナシ。

通二九九八 呂一Bケ五(一〇二〇〇K) 南島島警備隊

末光(林部)

20. 3. 6.



ト

三四 受信 始 一六三六 譯了 一八三〇

電〇〇二〇〇四一  
電〇〇二〇〇四二  
電〇〇二〇〇四三  
作概

至 急

高 警



東 通 聯合艦隊中  
高警第一警報着信監所

機密第〇四一三二五番電 三分ノ一六三

三月三日戰圖概報

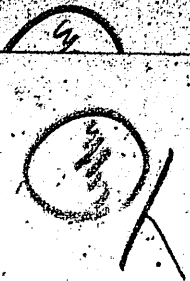
一、〇七四〇頃B-I二四 一機 B-I二五 二機南西方海面ヨリ高雄地區  
ニ侵入〇八三〇脱去 戦果 被害ナシ

二、一〇二〇戰爆聯合約二〇〇機(B-I二四 八二七機 B-I二五 二五機  
P-I四七 二六機 P-I三八 三六機 P-I五一 二〇機 B-I二九  
一一機)臺灣南部ヨリ概ネ一〇群ニテ高雄臺南臺中地區ニ侵入

通 三三三二  
三三三二  
三〇九七  
三〇九二

呂一Bラ十八(九一四五K)高二放奥山、西村(小野田)

- (B-129、140)頃侵入。永康、仁德、歸仁。基地及臺南市ヲ攻撃セ  
ル外高雄沖及岡山沖海中ニ投彈一四三〇頃脱去。戰果ナシ。  
被害 永康基地戰死下士官一 兵舎 廳舎ニ輕微ナル損害アリ 砂德  
基地戰死兵一 臺南市民死亡九 負傷一五其ノ他輕微  
三、二日被害判明セルモノ陸軍僅冬飛行場兵舎四 格納庫二 破損 要港  
沖ニテ機帆船一隻擱坐 負傷五名 其ノ他ナシ  
四、三日一九〇〇頃高雄沖ニ燈火ヲ認メ第一航空艦隊 月光一機發進二三  
二五潜水艦(二隻)發見攻撃セルモ効果不明。



三四 受信一〇二六 了二〇五〇 電〇〇二二二二〇 作 機

緊急

小 崗 山 司 令 部

第五基地航空部隊戦闘報告 信 送所



機密 〇四一三四七番電 二分ノ一ハニ

五 P G B 戦闘報告第一四號 (三月三日)

一 在 台 海 部 隊

(イ) 月光三機 P 四一六・一八・二〇索〇二〇〇一〇二四五發送セルモ

天候 不良全機引返ス

(ロ) 導水二機 P 二一・二四索〇二二〇發送〇二二五先端送出距離二

二〇距離ヲ見ス

(ハ) 導水三機 P 二二三索〇七三〇發送〇九三〇前後着陸引カス送出距

離二〇〇洲敵ヲ見ス P 二一六索發送後ヨリ連絡ナク未帰還

通 二三三七七 呂一B (九一五七) 高放 澤、菅原 (雨 谷) (一)

107 20. 3. 5.



(四) 影雲一機 四三九索一〇三〇發進 一四三〇以後連絡ヲケ未歸還

(五) 月光一機 (六三二) 二三〇五發進 二三〇三山ノ二三〇度二三〇〇

〇米ニ於テ浮上機水 二隻針降一〇度ヲ發見攻撃成績不明被弾ノ

爲方向舵ニカズ着陸時大破人員無事

(六) 零輸二機 「ツゲガシ」作戦輸送一機(夜戦)ノ攻撃ヲ受ケ引返ス

在菲島部隊

(一) 「ツゲガシ」零機一機 一四四發進「ラオアグ」  
「ヒガン」偵察

状況異状ヲ認メズ

(二) 其ノ他各機隊官所報

5/5

信

三四 受信一九二五 譯了二一〇〇 電〇二〇五五 作概

● ヤ ツ プ 航 空 基 地

● 第五基地航空部隊戰國概報着信艦所

● 三 〇 根 7

機密第〇四一五五〇番電

四日 戰國概報

一、昨日一六〇〇一八〇〇PBYI一機南TBF1一二機

東ヨリ來襲各部偵察東海岸銃艦北東方ニ去ル

二、〇九〇〇一〇〇〇TBF1一二機PI三八一機一〇〇度

ヨリ來襲各部ヲ偵察銃艦北東方ニ去ル夕刻大型機ノ爆音聴取

其ノ他目視飛翔大艇ダグラス各一機

三、戰果被害ナシ。

通二三七六 呂二B(八九九五K)四通放 安田(阿部)

天

三四 受信二〇三五 譯了二四四五 電〇二二五四 艦作 政概〇

至 急 共 行

休

東通・佐鎮 一八戰隊・佐世保工廠總務部

機密第〇四一六一一番電 三分ノ一

20. 3. 6.

發 怒和島守備隊長

宛 艦政本部總務部長

一、今次石垣雷爆撃ニ於ケル敵來襲機ハ第一目標ヲ護衛艦ニ置キ然後船

團ニ向ハントシ敵ハ攻撃前艦ネ對空火器弱少ト見レバ其ノ死角ヨリ

侵入肉薄低空ヨリ銃爆撃ヲ反覆實施ス。

（電信課註 本電三分ノ二三未着）

通二三九七 天二Bケ六（B）佐通 咲花（新井）

三 五 受信  
靜始 CC 一七  
〇四四〇

譯了〇六〇〇 電〇二三六〇

機作  
政機

至急

共符



一八戦隊卜・佐廠總務部

機密第〇四一六一號番電

三分ノ二

20. 3. 6.

110

一、第一次空襲ニ依リ護衛艦相當ノ被害ヲ生ジ船團ハ事無キヲ得タル  
モ資材ノ揚搭作業ヲ續行シ得ザル状態トナレリ  
三、敵艦載機ノ來襲ニ備ヘ且敵大型機附近海面ニ跳渠下味方被害ノ極  
限迄ニ任務遂行上。

（電信課註 本電三分ノ一既配布三分ノ三未着 發給和島守備隊）

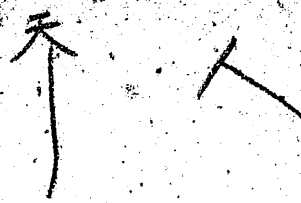
通二五一

天二Bケ六

（B）佐通

岩本（細川）

0134



三五

受信〇〇八二五  
譯始〇〇八二五

譯了〇九五〇 電〇二二六二 作 概

至 急

六 六 警 備 隊



聯合艦隊口・四艦隊口  
マドシヤル方面防備部隊

機密第〇四一六一八番

P E M 戰國海報 (三月四日)

一哨戒機〇四五〇(北離島録撃)一〇二五各々四〇二機

二被害警備隊戦死一名

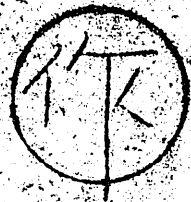
三昨一七五〇日本〇一二〇飛翔中ノPEM一機ラシキモノ燃音ヲ

聞ク

道二五九〇 呂一Bラ三八一七六三〇(四道) 羽今(上野)

20. 3. 6.

天



緊  
急

三五  
受信一九八二四〇三

譯了 一九四五 電〇二五二〇

航作  
本概〇

● パラオ第一航空基地

● 五基地航空部隊戰國概報着信鑑所

● 三〇根

機密第〇四一八一二番電

戰國概報 三月四日

當地區來襲ナシ 視界内飛翔狀況 F四U一延五八機 T B F I 一

延一六機 P B Y I 一 二機 ダグラス輸送機四機 B I 二四 一機本日

ハ主トシテコロール地區銃爆撃セリ。

112

20. 3. 6.

通二九〇〇

呂二Bラ十口 (八九九五KG) 四通

山内 (森 田)

↑ 大

三五 受信一〇五五 譯始一二〇〇  
至 〇二四三五 整 施

至 急

二 一 一 通

三二九空基地・二三根ケンタリー派遣隊  
二三根ボマラ派遣隊

東 通

機密第〇四一八二四番電 三分ノ二二三

20. 3. 6

發 一〇二施設部長

宛 一〇二施設部・三三施設隊長・スマトラ第一施設隊長・

シンタナオ・アンベシヤ・ボマラ谷派遣隊長

通報 第二南遣艦隊參謀長・二三根據地隊司令官・二三航戰司令官。

濠北空司令・二三特根ケンタリー、ボマラ各派遣隊長  
施設本部總務部長

通 二六五五 二六六三 天一Bケ四 (一八三六七、五KC) 二十一通館川 (薄羽)  
二六五六

石毛 津

一、ケンダリー施設隊、アンベシヤ、ボマラ各派遣隊ヲマカツサル施設隊長ノ指揮下ニ編入

二、一三四施設部、アンベシヤ、ボマラ、ボルネオハ三月末ヲ以テ残工事ヲ概成セシム爾後應急作業隊ヲ以テ基地整備ニ従事セシムルモノトス

三、應急作業隊ハケンダリー、アンベシヤ、ボマラニ於テ所在根據地隊分遣隊長ノ指揮ヲ受ケシムベシ應急作業隊長ハ幹部工員ヲ充當雇住民勞務者一五〇〇名ヲ適宜三隊ニ分割配屬セシムルモノトス

四、殘部ノ職員（職員、工員及勞務者）ハ速ニマカツサルニ轉進スベシ  
轉進ハ極力速行スルモノトシ二三根司令目ノ協力ヲ求ムルモノトス

五、尙器材ノ内爾後ノ一般整理ニ必要ナルモノノ外極力マカツサルニ携行スルモノトシ特ニ自動車部分品及ビ舟艇ノ轉送ヲ達成スベシ

六、施設隊長ハ速ニ移動計畫並ニ應急作業隊ノ編成ヲ定メ報告（週報）スベシ。





三五  
受信一八四七  
開始二〇二〇

七  
丁〇〇二〇  
電〇三二〇七

作務  
〇

二一  
通信隊

海上護衛總司令部附屬部隊・十通信隊

機密第〇四一八二七番電

發 第四南灣艦隊參謀長

宛 第二南灣艦隊參謀長

通報 大海參一部長 陸務局長

貴機密第〇三一八五二番電返

「アンボン」島、從來濃厚ナル「マラリア」浸淫地ナル上「ニユーギネア」方面ヨリノ轉進者ノ爲更ニ甚シク浸淫化セルト共ニ他方徹底セル防

通二九〇一 呂一ブラ一八

二一通

野村(垣田)

(1)

20. 3. 7-  
114

備築城ノ強化促進及猛訓練並ニ主食増進ノ爲已ムナク減食生糧品ノ不  
 足<sup>?</sup>ニ<sup>?</sup>依<sup>?</sup>リ<sup>?</sup>發<sup>?</sup>育<sup>?</sup>不<sup>?</sup>給<sup>?</sup>症<sup>?</sup>多<sup>?</sup>故<sup>?</sup>本年一月<sup>?</sup>中<sup>?</sup>ノ<sup>?</sup>新<sup>?</sup>患<sup>?</sup>者<sup>?</sup>ノ<sup>?</sup>シ<sup>?</sup>ニ<sup>?</sup>テ<sup>?</sup>モ<sup>?</sup>約<sup>?</sup>一<sup>?</sup>五<sup>?</sup>〇<sup>?</sup>〇<sup>?</sup>  
 名<sup>?</sup>ノ<sup>?</sup>多<sup>?</sup>數<sup>?</sup>ヲ<sup>?</sup>算<sup>?</sup>シ<sup>?</sup>入<sup>?</sup>院<sup>?</sup>休<sup>?</sup>業<sup>?</sup>全<sup>?</sup>員<sup>?</sup>ノ<sup>?</sup>二<sup>?</sup>〇<sup>?</sup>%<sup>?</sup>經<sup>?</sup>業<sup>?</sup>ヲ<sup>?</sup>含<sup>?</sup>ミ<sup>?</sup>約<sup>?</sup>三<sup>?</sup>〇<sup>?</sup>%<sup>?</sup>一<sup>?</sup>部<sup>?</sup>部<sup>?</sup>隊<sup>?</sup>ノ<sup>?</sup>  
 如<sup>?</sup>キ<sup>?</sup>ハ<sup>?</sup>五<sup>?</sup>〇<sup>?</sup>%<sup>?</sup>ニ<sup>?</sup>モ<sup>?</sup>達<sup>?</sup>セ<sup>?</sup>ル<sup>?</sup>摺<sup>?</sup>撤<sup>?</sup>狀<sup>?</sup>況<sup>?</sup>ニ<sup>?</sup>シ<sup>?</sup>テ<sup>?</sup>第<sup>?</sup>十<sup>?</sup>一<sup>?</sup>第<sup>?</sup>十<sup>?</sup>二<sup>?</sup>防<sup>?</sup>疫<sup>?</sup>班<sup>?</sup>及<sup>?</sup>各<sup>?</sup>隊<sup>?</sup>新<sup>?</sup>  
 編<sup>?</sup>成<sup>?</sup>ノ<sup>?</sup>一<sup>?</sup>マ<sup>?</sup>ラ<sup>?</sup>リ<sup>?</sup>ア<sup>?</sup>一<sup>?</sup>防<sup>?</sup>疫<sup>?</sup>隊<sup>?</sup>ヲ<sup>?</sup>シ<sup>?</sup>テ<sup>?</sup>全<sup>?</sup>力<sup>?</sup>ヲ<sup>?</sup>盡<sup>?</sup>ス<sup>?</sup>之<sup>?</sup>ガ<sup>?</sup>防<sup>?</sup>疫<sup>?</sup>ニ<sup>?</sup>邁<sup>?</sup>進<sup>?</sup>セ<sup>?</sup>シ<sup>?</sup>メ<sup>?</sup>ツ<sup>?</sup>  
 ツ<sup>?</sup>アル<sup>?</sup>モ<sup>?</sup>尙<sup>?</sup>右<sup>?</sup>ノ<sup>?</sup>如<sup>?</sup>キ<sup>?</sup>現<sup>?</sup>狀<sup>?</sup>ニ<sup>?</sup>付<sup>?</sup>遺<sup>?</sup>憾<sup>?</sup>ナ<sup>?</sup>ガラ<sup>?</sup>貴<sup>?</sup>意<sup>?</sup>ニ<sup>?</sup>應<sup>?</sup>ジ<sup>?</sup>難<sup>?</sup>シ<sup>?</sup>。

東瀛註 本館誤字極ノテ多シ

(2)

三五 受信一五五二 譯了一一〇〇 電〇三二一九 作 概〇  
七 譯始〇八一五 航 本

緊急



二三根戰團概報着信艦所 八 警 備 隊

機密第〇四二〇一三番電

戰團概報(三月四日)

一「シカハサ」地區

(1) 双發一機〇九〇五「メナド」東方ヲ南西ニ、一三二五西方ヲ

北方ニ猛爆後通過

(2) 〇九五〇一〇五五四發 爆撃機一機「トシタノ」「ランゴア

ン」旋回後「メナド」ニ投彈被害ナシ

(3) 一二四〇及一四一〇四發各一機「メナド」ニ侵入執拗ニ旋回投

彈一四三〇及一五〇五各一機東方ニ遁走被害ナシ

二「ゴロンタロ」地區三日一〇〇「ボーファイ外」一四機

「ゴロンタロ」地區一帯ヲ一時間ニ亘リ銃爆撃被害ナシ。

三二八一七 四一E 三十八(一八三六五七)二一通

明比(高橋)

20. 3. 8



三  
五四 受信二二〇三 講了〇三〇〇 電〇二一六八 作機

父島根戰艦報告信艦所

機密第〇四一九四三番電

父島根

戰艦概報（三月四日）

二、三日二〇四四ヨリ一四五ニ至ル間大型機一機宛十回ニ亘リ來襲附近  
投彈セルモノ二回大型機一機何レモ周邊ヲ旋回南方ニ去ル四日一三四九  
ヨリ一八五四ニ至ル間大型機八機來襲二見灣港ヨリ飛行場ニカケテ投彈  
ニ、戰果ナシ  
三、被害飛行場銃撃格納庫修理使用不可能。

（東通註 本電談字極メテ多シ）

透二四三九 天一七ケ六（五一〇〇〇〇）父送 坂下（福田）

20. 3. 5.

三五 受信一八二〇 譯了二二二五 電〇二六一一 作 概  
譯始二〇三〇



● 二六根戦闘概報着信艦所。三南遣艦隊各口△

機密第〇四二〇四一番電

20. 3. 6.

六KB 戦闘概報四日

一〇九〇〇 一〇〇〇單發各ニワシレ地區銃撃〇九〇四單發ニ  
カウ地區銃撃〇八一六双發ニシヤイロ口銃撃〇八〇〇 〇八三〇  
單發各二一二三〇ポ一ハイターニ一四四〇P一三八一飛行警戒  
パレンバン地區偵察戦果被害ナシ

ニタルバー三三〇(一五〇〇) 大機二中型一小型二索敵機二P四

P一

三 口タイ發進針路北乃至西大型二四中型三〇小型二五計七九  
通二八七七 呂ニブラ十八(一八三六七五KC)ニ一通

中村(高橋)

人

↑

三五 受信 〇〇九四三〇〇 譯丁 〇九五〇 電 〇二二九二 航作 概本 〇

緊急

九〇〇一 空



九三六空ヲ。サイゴン空基地。カウトライ水上基地  
カムラン空基地

一護衛艦隊ヲ。六潜戦ヲ

機密第〇四二一一五番電

20. 3. 6.

一貴方面進出中ノ當隊飛行艇ニ對スル九三六空司令官ノ指揮ヲ解

ニ飛行艇隊指揮官ハ六六號及六一號(要務用)艇ヲ以テ「カムラ

ン」カウトライ「當隊基地員及搭乗員ヲ成ルベク速ニ三亞及

東港ニ空輸スベシ(輸送要領三亞迄一應空輸ノ後三亞東港間輸

送ハ差當リ一回トス)行動豫定速報スベシ。

通二六一七 呂一Bケ四(九一四五)高二放 片山(上野)

OK

作

作戰特別緊急

三五 受信開始 〇〇一三五〇 譯了 〇二〇五 電 〇二一五〇 作 概 〇

カムラン航空基地

キノン、カツトライト各航空基地

第一護衛隊。九〇一、九三六各航空隊。一一根。海上護衛隊。二八航空隊。

機密 〇四二一一一六番電

一 明五日敵機司令部來襲ノ算大ナリ

二 秘機困難ナル飛行機ハ明早朝左ニ依リ避退ヤシムベシ

カムラン。キノン。〇六〇〇。カツトライ。〇六三〇。發フノン

ペン飛行機ハ昭南ニ復歸時ニハ特令ス

海二五三四 才一號一六二三五 KC 十通 岑(木) 下)

2887 381# 機密

傍

作戦緊急

三五 受信開始 〇八三六 〇九〇五 〇一〇〇五 〇二三一五 航作機本〇

二南遣艦隊口・二三航戦口・十方面艦隊口

機密第〇四二二〇〇番電

一〇日電令第十一號

第二十八航空戦隊司令官、第三八一海軍航空隊本部ヲ（バリツクバパン）ニ移シ同隊ノ大部ヲ（バンジヤルマシ）ニ移動シ同地ヲ訓練基地トシテ使用セシムベシ

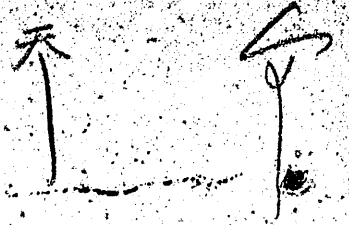
第二南遣艦隊司令官並第二十三航空戦隊司令官、右ニ關シ協力ス

東通註 翻譯ニ誤リナシ

通二六〇七 呂一Bラ一八（一五七一〇K）（三二通

20. 3. 6.





三 五 受信一〇一五 了二一六 〇二三一〇 災 海

保安緊急



東支那海及南西諸島方面帝國船團 (船舶)  
AS一部隊・支那方面艦隊口? ?

機密第〇五〇三二一 番電

住民磁氣機雷敷設ノ疑アリ王ヒン (吳淞) 上流四漕 (ヨリ) 下流揚子江ノ  
航行ヲ禁ズ入港艦船ハキウタン「スピット」ニテ待テ。

通二六四七 天一〇 (九八三〇) 佐二放 鈴木 (小澤)

20. 3. 6-

三

五

受信一〇五〇七

譯了二〇五九

電〇二三一

作橋

作戰緊急



南號作戰部隊。一護衛艦隊。第二美保空

機密第〇五〇七四五番電

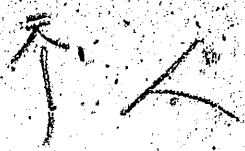
〇七〇五B124 一機ツौरラン港外哨戒中ノ海一三四第一三〇號

海防艦ヲ爆撃セルモ交戦艦退セリ被害ナシ〇五三〇第六九號海防艦

ニ合同スヒ九八船團〇七

通二六六一 於一五(九一四五)高三放 清水(上野)

20. 3. 6.



三五受信 一三一六 譯了 一八二五 電〇二五二四 作概〇  
始 一六〇〇

至急

高雄警備府



東京通信隊・聯合艦隊口  
海上護衛總部隊各口・第一航空艦隊口・支那方面艦隊口  
第二連支隊口・南西方面艦隊口・第五航空艦隊口・佐領  
海南警備府・沖繩根口・臺灣航空隊

機密第〇五一〇四〇番電

20. 3. 6.

三月四日敵機來襲狀況

一、一一五〇ヨリ一二四九ノ間B一二四 四機臺灣西海面ヲ北上臺中地區  
二、侵入投彈後南方ニ脱去ス 戦果被害ナシ  
三、一三二〇ヨリ一五〇〇ノ間P十三八 一二機東港附近ヨリ島内ニ侵入  
臺中上空迄北上ノ上南下ヒリ 戦果被害ナシ  
五日〇二〇〇ヨリ〇三三〇ノ間B一二四 七機高雄臺南地區ニ侵入  
通二七四〇 呂一Bラ十八(九一四五K)高二放 山内(小川)

夷彈ヲ投下高雄市臺南市ニ夫々火災發生ヒルモ直ニ鎮火被害輕微ノ見  
込 月光二機ヲ以テ激撃ヒルモ戰果ナシ  
四日ノ棄機機數極メテ小數且五日ヨリ夜間空襲ヲ再興ヒル特異狀況ヲ  
示シアリ。